

事業番号	14 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	議会事務局費	部局	議会事務局	課・室	総務課				
		実施期間	～	E-mail	gikai@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策									

1 現状と課題

- ・議会事務局3課体制で、本会議・委員会等の運営、議会広報、法令等の審査等、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、議員の調査研究活動を支援している。
- ・執行機関から提案される予算案、条例案等は多岐にわたり、議会の果たすべき役割及び責務の重要性が増大している。

2 事業目的

地方自治の二元代表制の一翼を担う存在として、議会の果たすべき役割や責務の重要性が増大する中、県民に身近な県議会を目指しながら、意思決定機能や監視機能、政策形成機能をより一層発揮する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①議案等閲覧用タブレット端末の導入
 ・議会審議の充実やペーパーレス化の推進等のため、議員に貸与する議案等閲覧用のタブレット端末を導入
- ②「こんにちは県議会です」（県政報告会・ふれあいミーティング）の開催
 ・議員が地域の諸課題等について県民の方々と意見交換したり、議会の活動を直接お知らせする「こんにちは県議会です」を開催
- ③広報紙の作成・発行
 ・定例会の開催に併せ、作成し発行
 ・紙面（新聞折込）のほか、視覚障がい者のために紙面と同じ内容で点字版及び音声CDを作成

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	指標なし										

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	286,632	817	287,449	283,392	280,722	37.0
R3年度	0	279,778	620	280,398	276,388	253,358	37.0
R2年度	0	308,174	△ 3,720	304,454	300,047	276,658	37.0

事業番号	14 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	議会事務局費		部局	議会事務局	課・室	総務課	

6 主な取組実績と成果

① 議案等閲覧用タブレット端末の導入

・議会審議の充実やペーパーレス化の推進等のため、議案等閲覧用のタブレット端末を議員に貸与するとともに、操作研修会を実施し、2月定例会において委員会資料の閲覧等に活用。



委員会におけるタブレット端末による資料閲覧

② 「こんにちは県議会です」（県政報告会・ふれあいミーティング）の開催

・議員が地域の諸課題等について県民の方々と意見交換したり、議会の活動を直接お知らせする「こんにちは県議会です」を3回開催。（参加者100名）



「こんにちは県議会です」の様子

③ 広報紙の作成・発行

・定例会の開催に併せ、年4回作成し発行。紙面（新聞折込）のほか、視覚障がい者のために紙面と同じ内容で点字版及び音声CDを作成。（発行部数：紙面236万3千部、点字版1,040部、CD版1,344部）

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	指標なし	R3年度推移	R4年度推移	達成状況

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・執行機関から提案される予算案、条例案等は多岐にわたり、議会の果たすべき役割及び責務の重要性が増大している。
 ・タブレット端末の本格的な運用開始に向けて、それに対応した円滑な議会運営が求められている。
 ・「こんにちは県議会です」の参加者からはイベントに対する好評の声をいただいているが、引き続き、県民の県政及び県議会への関心を高めることが課題である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・議会の監視機能や政策形成機能の向上が図られるよう、引き続き、支援体制の充実に努めてまいりたい。
 ・改選後の議員を対象に操作研修会を開催するなど、議員によるタブレット端末の活用に向けた支援を通じて、議会審議の充実やペーパーレス化を推進してまいりたい。
 ・県民の県政及び県議会への理解を深めるため、より効果的な広報のあり方を検討するなど、引き続き、議会広報の充実に取り組んでまいりたい。

事業名	議会事務局費	部局	議会事務局	課・室	総務課
-----	---------------	----	-------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	議会事務局費	276,658 千円	253,358 千円	280,722 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	事務局運営	直接 委託	本会議・委員会の運営、会議録の作成、図書室の維持管理等を実施 定例会・臨時会年5回開催、会議録の公開
2	議案等閲覧用タブレット端末導入	直接	議会審議の充実やペーパーレス化の推進等のため、議員に貸与する議案等閲覧用のタブレット端末を導入 タブレット端末73台導入
3	議会広報	直接	広報紙の作成・配布やインターネット・C A T Vを活用した映像配信、「こんにちは 県議会です」の開催等を通じて、議会広報を実施 広報紙年4回発行、「こんにちは県議会です」3回実施
4	政務活動費交付金	交付金	地方自治法第100条第14項の規定により、各会派の政務活動に要する経費の一部として政務活動費を交付 議員1人当たり31万円/月